

市民活動だより

【発行】小浜市ボランティア・市民活動交流センター（西津コミュニティセンター内）

開館時間：9:30 ～ 16:30 休館日：日曜日、月曜日、祝日、お盆、年末年始

電話/FAX 52-7837 メール volunt-sien@city.obama.lg.jp

小浜市北塩屋 22-2 センター出入口：国道 162 号側（旧西津保育園玄関）

観光ボランティアガイド「若狭の語り部」

『羽野二郎氏が、福井県観光連盟観光功労賞』を受賞されました。

この賞は、福井県の観光振興に、顕著な功績を残した団体や個人に贈られるもので、令和7年度は5団体と5名が選ばれました。

羽野氏は、20年間にわたり「若狭の語り部」として活動され、観光ボランティアガイドとしての使命感を貫かれました。その姿勢は、後輩会員の模範になり、高く評価されての受賞でした。

惜しくも授賞式を待たず、この5月31日にご逝去されました。7月1日には、西津コミュニティセンターホールで伝達表彰式が行われ、福井県観光連盟の畑中容子専務理事から、奥様へ表彰状が授与されました（写真左下）。会員代表の松木憲司氏が追悼の言葉を述べ（写真右下）、参加者全員が献花し、ご冥福をお祈りしました。



【『若狭おばま環境美化デー』への参加お礼】

◆9月6日（土）、食文化館周辺の清掃活動に、多くのボランティア登録団体の皆様にご参加いただきました。猛暑の中、ご協力誠にありがとうございました。



【ボラセンから新しい備品のお知らせ】

◆以下の備品が貸出可能となりました。
ボランティア登録団体においてご利用の際には、ボランティアセンターまでご連絡ください。

★三角コーン（赤色）3本



★スクリーン（横開閉式）



活動団体の紹介

小浜古文書の会



小浜古文書の会は、平成28年（2016年）に小浜市の歴史愛好家有志により発足しました。

若狭（嶺南）地域や小浜藩の様子を伝える貴重な古文書を読むことから活動を始め、毎月1回、「古文書を読む会」を開催しています。

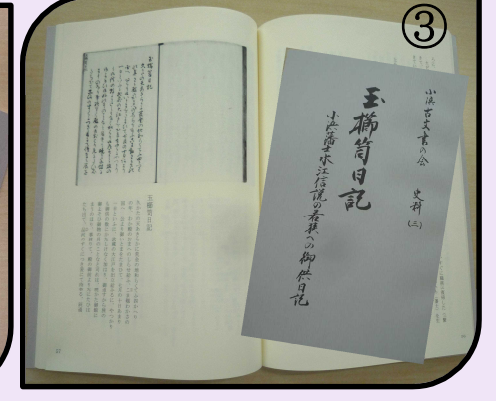
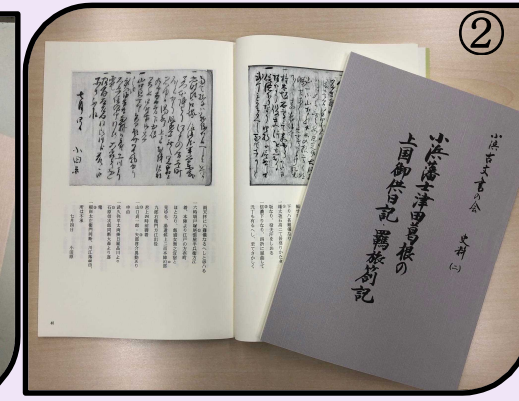
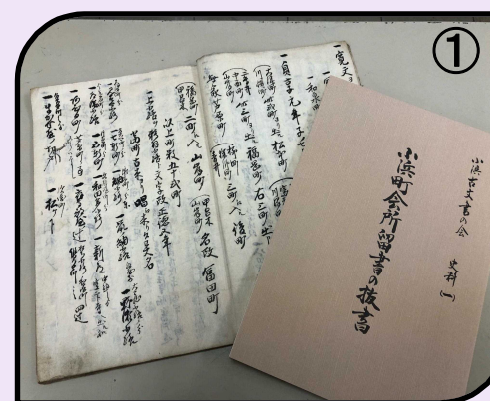
令和元年（2019年）には、読み解いた古文書を冊子として刊行することとなり、旧小浜藩主酒井家第19代 酒井忠和氏と京都大学名誉教授藤井譲治氏を名誉顧問に、上越教育大学名誉教授下西善三郎氏と元小浜市史編纂室長杉本泰俊氏を顧問に迎え、会則も制定しました。

これまでに、小浜市や関西電力、ボランティア団体の助成を受け、次の史料3冊を刊行しています。史料では、発掘した古文書を分かりやすく紹介しています。

①『小浜町会所留書の抜書』史料(一)（令和2年10月刊行）

②『小浜藩士津田葛根の上国御供日記・羈旅筈記』史料(二)（令和4年9月刊行）

③『玉櫛笥日記 小浜藩士水江信説の若狭への御供日記』史料(三)（令和7年1月刊行）



令和7年3月には、「古文書に親しむ講座」を開催し、参加者や史料の購読者から、好評をいただきました。

小浜の歴史を豊かにする一助となったことを会員一同大変喜んでおります。

オカリナサークルtoi toi toi



8月2日(土)

子ども食堂の夏祭り演奏

子ども食堂の「おむすびころりん夏祭り」に、初めて参加させていただきました。たくさん子ども達や保護者の方々が来場されており、『おぼけなんてないさ』や『にじ』など、子ども達に馴染みのある曲を演奏しました。ステージ前で立ち止まり聴いてくれる子や、お母さんの膝に座り聴いてくれる子ども達の姿が見られました。オカリナの音色に耳を傾けてくれたのが嬉しかったです。



小浜市国際交流協会



6月29日(日)

「若狭おばま国際交流七夕のつどい」2025

小浜市サン・サンホームにて開催しました。参加者は、日本人 103 名 外国人 55 名 合わせて 158 名でした。フィリピン、中国、ベトナム、南アフリカの4か国の方々と、笹に七夕飾りや短冊を付けたり、まつさか音頭や七福神音頭を楽しく踊ったり、日本文化を楽しみ交流を深めることができました。

若狭西地区更生保護女性会



9月18日(木)

「中部地方更生保護女性の集い」開催

福井市の県民ホールアオッサにて、中部地方更生保護女性連盟結成 60 周年を記念した「中部地方更生保護女性の集い」が開催されました。福井県知事をはじめ、34 名の来賓をお迎えし、中部地区 6 県から総勢 400 名の会員が集いました。顕彰式典に続き、「更生保護施設栃木明德会」の施設長・永山正明氏の講演が行われました。女性を対象とした更生保護施設の取り組みについて、再犯の現状や更生保護の難しさなど、具体的な事例を交えて語られました。

観光ボランティアガイド「若狭の語り部」



8月5日(火)

古い町並み三丁町の観光案内

この夏、関西方面から多くの観光客が訪れ、旧茶屋町の三丁町を案内しました。観光客からは、「京都の街を歩いているみたいですね」との声もあり、地元の魅力を再認識する機会となりました。



市民活動団体の活動を紹介します

小浜市母子寡婦福祉連合会



8月24日(日)

国際博覧会「大阪・関西万博」

福井県ゆとりライフ支援事業を受けて、「大阪・関西万博」へ10名で行ってきました。会場は、たくさん入場者で賑わっていました。有意義な時間を過ごし、親子とのふれあいや会員同士の情報交換・交流が深まり、よい機会となりました。

子ども食堂「おむすびころりん」



9月26日(金)

バロー小浜店「フードドライブポスト」設置

子ども食堂「おむすびころりん」のフードドライブポストが、バロー小浜店に設置されました。設置式には、(株)バローホールディングス小浜店長、社会福祉協議会、市役所担当職員が出席し、子ども食堂と協定を交わしました。企業や個人から寄付いただいた食品や日用品を、子ども食堂に来られた方や必要としている方に、お渡しする活動をしています。企業や地域の皆様からの寄付は大きな力となっています。善意により支えられ、運営が継続できることに感謝しています。

小浜山の会



5月11日(日)

「春の一緒に登りませんか」久須夜ヶ岳～蘇洞門

参加者 44 名(一般 28 名・会員 16 名)で、久須夜ヶ岳から蘇洞門へ下って戻るコースを歩きました。集合場所は、久須夜ヶ岳山頂の駐車場で、霧雨が降っていましたが、歩き始める頃にはほとんど止み、蘇洞門に着く頃には青空が広がっていました。今回は、下って登る逆登山を一般参加者の皆さんとともに体験し、青い海と大門・小門の美しい景色を楽しむことができました。

ふくふく笑いクラブ小浜



9月14日(日)

「敬老のつどい」出張笑いヨガ

私たちは定期的な体験会のほか、「出張笑いヨガ」も行っています。先日メンバー 5 人で、ある町の「敬老のつどい」に伺いました。翌日、さっそくいただいたお礼のメールをご紹介します。「こんなに皆で笑ったのは、これまでで最高潮です。皆がロクに、『笑った！楽しかった！』と言っていました。今日から我が〇〇町は笑いが絶えない街になるでしょう！」私たちの目標は『笑って暮らすまちづくり』です。笑いの力で地域を元気にする活動が実を結びました。